

## ペルーの基本情報

国名	ペルー共和国(Republica de Peru)
人口(国土)	約2,700万人 128万平方km
首都	リマ
言語	公用語はスペイン語、ケチュア語、アイマラ語
民族宗教	メスティソ52%、先住民32%、ヨーロッパ系12%、その他4% ローマカトリックが約95% (宗教の選択は自由)
気候と地理	南米大陸のほぼ中央に位置するペルー共和国は、エクアドル、コロンビア、ブラジル、ボリビア、チリと国境を接し、西側は太平洋に面している。
時差	日本より14時間遅れ
通貨	通貨単位はソルNuevoSol(略号NS/), その下がセンチモCentimoとなり、100Centeimo=1ns/. ソル紙幣はns/.10,20,50,100があり、コインはs/.1,2,5と5,10,20,50Centeimo
ビザ	観光目的で最大183日までの滞在ならビザは不要
パスポート	残存有効期間は日本帰国時までであれば基本的に問題はありませんが、北米を経由する航空便でペルーに入国する場合は、6ヶ月以上の残存有効日数が求められるので、ペルーでの滞在日数プラス6ヶ月以上の残存有効期間が必要になります。
米国経由で中南米へ渡航する際のご注意	◆ESTA(エスタ)◆ 2009年1月12日から電子渡航情報システム(ESTA)が導入され、ビザ無しで渡米する場合(陸路を除く)出発3日(72時間)前までにインターネットを通じて入国許可を申請するよう義務付けられました。 手続きの手順はパソコンから下記サイトへアクセスし、トップページの右上にあるSelect Your Preferred Languageから日本語を選択してGOのサインをクリックするパスこれで日本語の案内が表示されますので、操作手順に従って氏名・生年月日・ポート情報・利用する航空便や米国での滞在先などを英語(ローマ字)で入力する。 ESTAのサイト <a href="https://esta.cbp.dhs.gov/">https://esta.cbp.dhs.gov/</a>
電話電氣	公衆電話が広く普及していますのでコインを使用して電話を掛けることができます。 220ボルト/60アンペア。プラグの形状・コンセントはほとんどがA型・C型です。
治安	観光客を狙ったスリ・置き引きなどの犯罪には気を付けましょう。 空港など人の多い所や夜の1人歩きには注意が必要です。
営業時間	レストラン 昼13:00~ 夕19:00~ デパート、小売店など 10:00~20:00 スーパーマーケット 10:00~22:00頃まで
飲料水	水道水は飲用には適していませんので、うがいや歯磨き等にご利用下さい。 飲料用にはミネラルウォーターをご利用下さい。
空港税	リマ空港の国際線空港使用税 US\$31.00 国内線空港使用税 リマ:US\$6.82 クスコ:US\$4.28

## 旅のQ&A

### Q:ペルー料理はどんなものがあるの?

A:水産大国のペルーは魚介類が豊富、さらにアンデスで栽培されるジャガイモ・カボチャ・大粒のとうもろこしなどは原産国なら美味しさに誰もが満足することでしょう。ペルーの名物料理はなんといってもセビッチェCebiche。新鮮な魚介類とレモン汁、香菜的クラントロ、タマネギ、野菜、香辛料などを混ぜ合わせたもので、さっぱりとした味は、日本人の味覚にぴったりです。肉料理は牛の心臓を串に刺して焼いたアンティークーチョ、牛肉とフライドポテトやトマトを炒めたロモ・サルタードが有名です。

### Q:お土産はどんなものがあるの?

A:ペルーのお土産の代表格はアルパカ製品と銀製品でしょう。柔らかくてしなやかな肌触りのアルパカ製品は温かく、着心地セーターのほかに手袋、靴下、敷物などが売られており、リマをはじめアレキパやクスコ、プーノなどで手に入ります。銀製品は細工が施されたイヤリングやネックレスからスプーンなど、多種多様です。値段も日本に比べるとずいぶん低価格購入することができます。また、ケーナやサンポーニャ、チャランゴ、ボンボ(太鼓)などのフォルクローレ楽器や音楽CDなども人気があります。

### Q:旅のベストシーズンはいつ頃がいいの?

A:日本の3.4倍の広さがあり、海岸、山岳、熱帯雨林地帯のあるペルーは地域によって観光のベストシーズンも変わってきます。リマをはじめとする海岸地帯は11~4月の夏に、クスコ、プーノなどの山岳地帯は4~11月の乾季が観光のベストシーズン。また、イキトスは7~11月の雨の少ない季節に訪れるのがいいでしょう。